

## チナゴウ海岸線の景観と植栽マス撤去について伺う / 新垣雅士

■6番 新垣雅士議員 チナゴウ海岸線はモクマオウやギンネムの木が生い茂り、部分的には海も見えないほどに成長し景観を損ねています。またモクマオウは石積やハリコンの隙間から伸びており、大型台風襲来時には歩道を破壊する恐れもあると思うが、モクマオウの伐採をすることができないか。

次に、前泊沈砂池から製糖工場までの歩道におおむね246ある植栽枡の中でハイネズが93、ハイツルマサキが54枡あり、残りは雑草が生えている。特にギンネムが多く生えていることから今後管理がより厳しい状況になることが予想されます。ハイネズやハリツルマサキを別の場所に移植して植栽枡を撤去し歩道のみにするこゝとで、ウォーキング・ジョギング等をするコースとして活用すれば村民の健康増進にもつながり、歩道の管理も容易になるのではないかと思います。撤去方法の問題もありますけれども、村としての見解をお伺いしたいと思います。

まず、伐開ができるかどうかをお願いします。

■議長（金城信光） 答弁、名嘉彰建設課長。

■名嘉彰建設課長 新垣雅士議員の質問にお答えいたします。議員がおっしゃったとおりチナゴウ海岸付近にモクマオウやギンネムがかなり成長し、景観を損ねています。観光イメージアップ等の事業で簡易的に伐採等は行っていますが、大々的な伐倒などは行われていないのが現状です。今後、場所等の調査を行ってすぐに実施可能なものについては伐採を行い、困難なものについては方法等を考えて検討して対応していきたいと思います。以上です。

■議長（金城信光） 答弁終わりました。新垣雅士議員。

■6番 新垣雅士議員 伐開等については観光イメージアップ事業等の勘案をしながらできるということでありまゝす。是非、伐開をして景観を良くして島の観光イメージアップにもつなげていただだけるようによに要望しまゝす。それから、植栽枡について。

■議長（金城信光） 答弁、名嘉彰建設課長。

■名嘉彰建設課長 新垣雅士議員の質問にお答えいたします。村道アグチャー線の植栽枡についてはこれも観光イメージアップ作業や、ムーンライトの前の集落の作業などで草刈り等は行っはおりますけれども、<sup>さすが</sup>流石に<sup>はんも</sup>繁茂が早くて追いつかないのが現状だと思ひまゝす。ハリツルマサキやハリネズやその移植については、場所の選定や本数など沖縄県と調整しながら実施が可能なのかを検討して参りたいと思ひまゝす。植栽枡については道路構造物の適正化法も考慮しながら、またこれを取り払う事業メニュー等も考えながら検討してまいりたいと思ひまゝす。以上です。

■議長（金城信光） 答弁終わりました。新垣雅士議員。

■6番 新垣雅士議員 いろいろ検討していくということでありまゝすけれども、その植栽枡については、これまで前泊の個人の方がいろいろ剪定をやられておりました。もちろん美化清掃の皆さんやムーンライトの時の前泊の集落の方々ですかね、やられてはいますけれども、今のかたちが残っているのは、個人的に剪定をしたりしている方がいて保たれていたんですけれども、この方も今は全くやられていないようで、このままだとギンネムに覆われて管理が本当に大変なことになるんじやな

いかと思っていますので、そこらへん重々検討していただいて早めの対応をお願いしたいと思います。